

平成 27 年 12 月期
決算説明資料

平成 28 年 2 月 12 日

ダンロップスポーツ株式会社

(本資料の金額表記は、億円未満を四捨五入しております)

2015年の業績

連結損益の概要

売上高は4期連続増収
純利益は「のれん償却額」の計上でマイナス

(単位:億円)	2015年 1-12月	対前年	公表値	増減
売上高	781	+72 (+10%)	777	+4
営業利益 (率)	15 (1.9%)	△6 (△29%)	12 (1.5%)	+3
経常利益 (率)	18 (2.3%)	△13 (△41%)	15 (1.9%)	+3
純利益 (率)	△36 (△4.6%)	△47 (-)	△38 (△4.9%)	+2

	対前年
国内ゴルフ用品市況	102%
国内テニス用品市況	105%
米国ゴルフ用品市況	102%

■対前年同期

売上高は、国内ゴルフが好調、テニスも堅調だったことに加え、2014年第4四半期に買収したウェルネス事業の連結加入が年間で影響し、増収となった。

営業利益、経常利益は、円安による仕入れコスト高が影響し、減益となった。

純利益は、米国クリーブランドゴルフ社の「のれん」を一括償却したことによりマイナスとなった。

※億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示

	1株当たり配当金		配当総額
2015年12月期	中間	10円	2.9億円
	期末	—円	

特別損失の計上について

米国クリーブランドゴルフ社に係る「のれん償却額」を特別損失に計上したことにより当期純利益はマイナス

当期純利益(損失)

当初公表 (2月10日)	修正予想 (12月10日)	増減	当期実績	増減
7	△ 38	△ 45	△ 36	+2

(億円)

【背景】

- ・米国クリーブランドゴルフ社の当初計画が未達。
- ・同社の収益性が問題となり、資産として計上していた超過収益力である同社の「のれん」について、資産性が無いものとして当期に一括償却。



「のれん償却額」を特別損失に計上 △39.5億円

<3>

製品別売上高

スポーツ用品事業 及び ウェルネス事業で増収

(単位:億円)	2015年 1-12月	対前年		為替影響 除く	日本		海外 (為替除く)
		金額	率		日本	海外	
ゴルフクラブ	363	+17	+5%	+5	+23	△18	
ゴルフボール	149	+4	+3%	△1	+3	△4	
用品その他	77	△1	△2%	△2	△4	+2	
ゴルフ用品	589	+20	+4%	+2	+22	△20	
テニス用品	65	+2	+3%	+2			
ライセンス収入	4	△0	△2%	△0			
スポーツ用品	659	+22	+3%	+3			
サービス	42	△3	△6%	△3			
ウェルネス	80	+53	+194%	+53			
合計	781	+72	+10%	+54			

※億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示

■**ゴルフクラブ**
国内は、年間を通じてXX10が好調に推移。
海外は、北米でSRIXON、CGが計画を下回り減収。

■**ゴルフボール**
国内は好調も、海外は北米を中心にマイナス。

<4>

地域別売上高

日本・欧州は増収、北米・アジアは減収

(単位:億円)	2015年 1-12月	対前年 増減	為替影響 除く
日本	526	+72	+72
北米	75	△9	△17
欧州	52	+5	+2
アジア	104	+5	△2
豪州・南ア他	25	△1	△0
海外売上高	256	△0	△19
海外売上高 比率	32.7%	△3.3P	△5.0P
連結売上高	781	+72	+54

※ 億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示

■日本
国内ゴルフは大きく伸ばしたほか、テニスも堅調に推移。ウェルネス事業の連結加入もあり増収。

■北米
XXIOゴルフクラブは好調であったが、SRIXON・CGゴルフクラブ、ボールで計画を下回り減収。

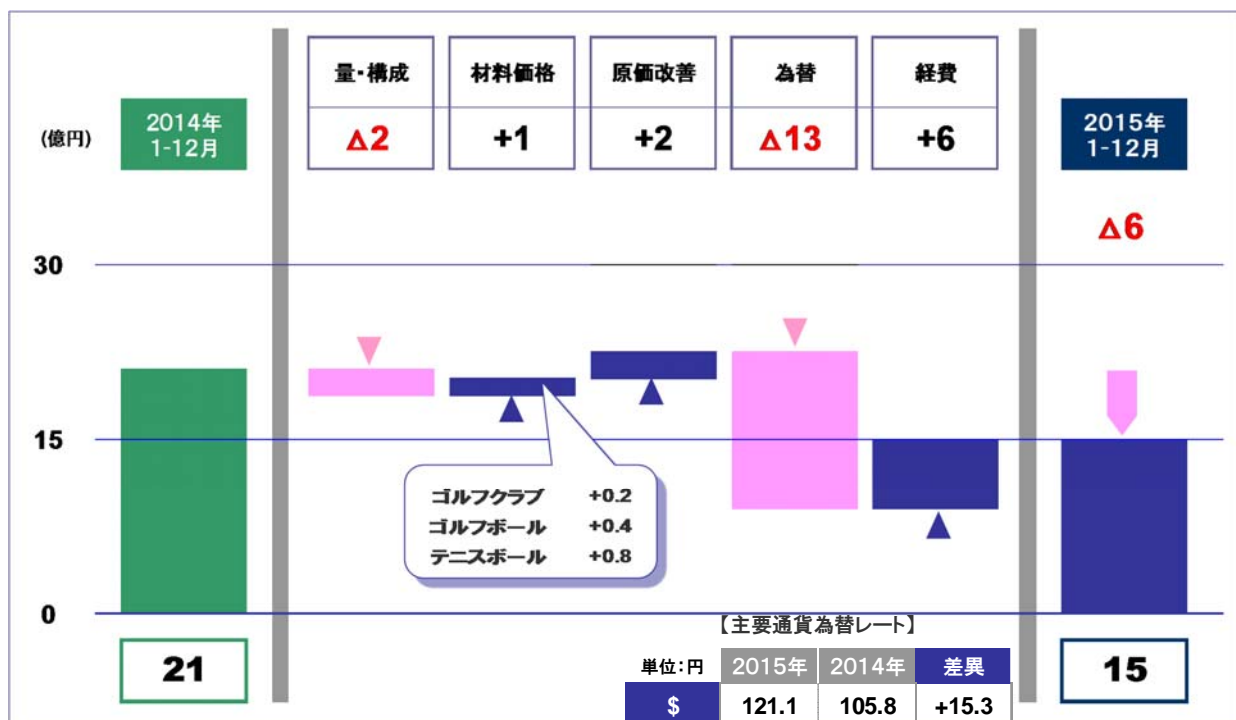
■アジア
韓国、東南アジアは好調も中国の市況悪化が影響し減収。

【主要通貨為替レート】			
単位:円	2015年	2014年	差異
\$	121.1	105.8	+15.3

<5>

営業利益増減要因

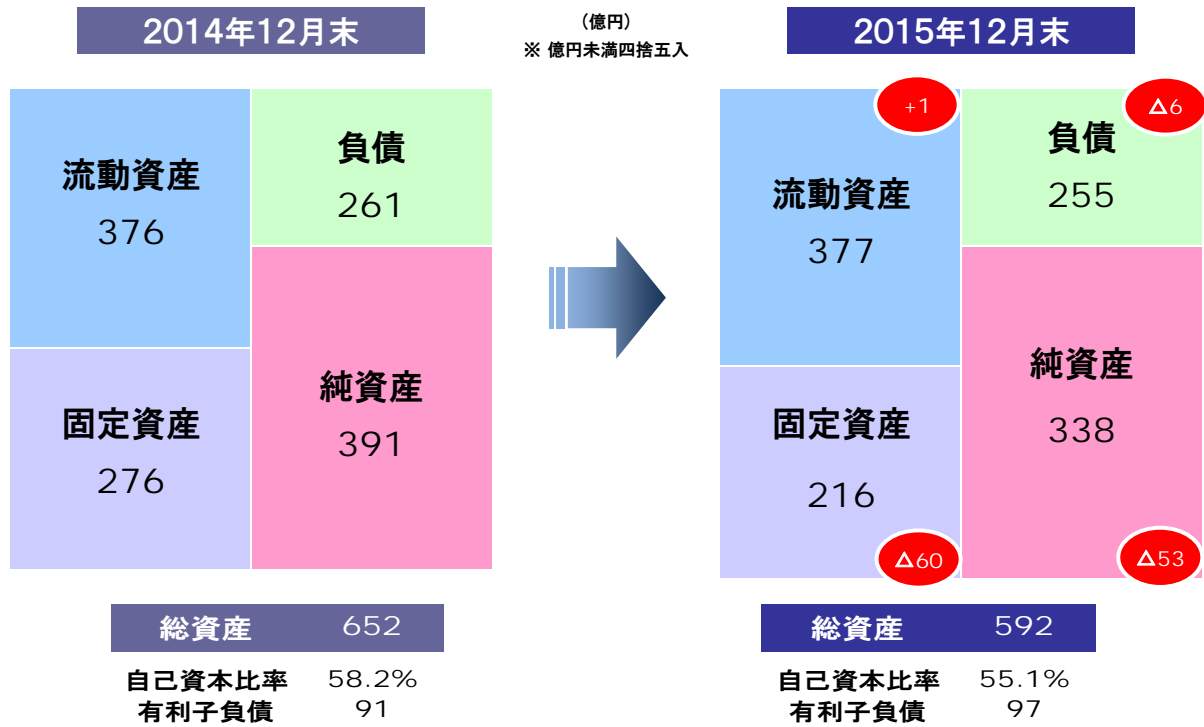
海外での減収と円安の影響により減益



<6>

バランスシートの状況

有利子負債が6億円増加し、自己資本比率は3.1P低下



<7>

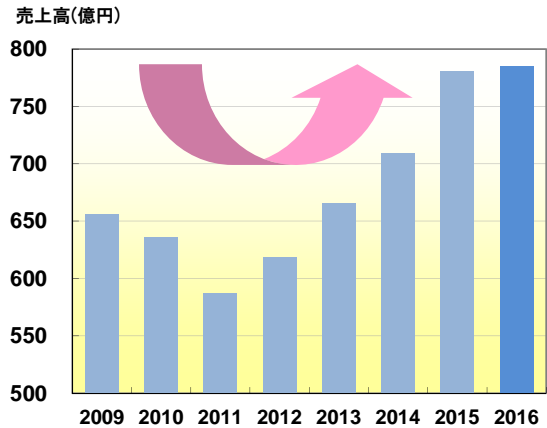
2016年通期業績予想

連結損益予想

ゴルフクラブ中心に増収増益を計画

(単位:億円)	公表値 (通期)		対前年		2015年 1-12月	
	金額	率	金額	率	金額	率
売上高	785		+4	(+1%)	781	
営業利益 (率)	20	(2.5%)	+5	(+35%)	15	(1.9%)
経常利益 (率)	20	(2.5%)	+2	(+11%)	18	(2.3%)
純利益 (率)	11	(1.4%)	+47	—	△36	(△4.6%)

	対前年
国内ゴルフ用品市況	99%
国内テニス用品市況	100%
米国ゴルフ用品市況	101%



※億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示

2016年12月期 (予想)	1株当たり配当金		配当総額 5.8 億円
	中間	期末	
	10 円	10 円	

<9>

製品別売上高(予想)

ゴルフクラブ中心に増販を計画

(単位:億円)	2016年 1-12月	対前年		為替影響 除く	日本		海外 (為替除く)	
		金額	率		金額	率	金額	率
ゴルフクラブ	373	+11	+3%	+14	+1	+12		
ゴルフボール	150	+0	+0%	+2	△3	+5		
用品その他	64	△13	△17%	△13	△11	△2		
ゴルフ用品	587	△1	△0%	+3	△12	+15		
テニス用品	66	+1	+2%	+1				
ライセンス収入	6	+1	+28%	+1				
スポーツ用品	659	+1	+0%	+6				
サービス	44	+1	+3%	+1				
ウェルネス	83	+3	+4%	+3				
合計	785	+4	+1%	+9				

※億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示

■**ゴルフクラブ**
海外中心にXXIO・SRIXON・CGで増販を計画

■**ゴルフボール**
欧州・豪州を中心に増販を計画

■**用品その他**
ウェアライセンスビジネスへの移行に伴い減収

<10>

地域別売上高(予想)

北米・欧州で増収、日本は減収

(単位:億円)	2016年 1-12月	対前年 増減	為替影響 除く
日本	521	△5	△5
北米	81	+6	+8
欧州	58	+6	+6
アジア	103	△0	+1
豪州・南ア他	22	△3	△2
海外売上高	264	+8	+13
海外売上高 比率	33.6%	+0.9P	+1.3P
連結売上高	785	+4	+9

※ 億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示

■日本

ウェアライセンスビジネスへの移行に伴い減収も、ゴルフクラブ、テニス、ウェルネスは増収計画。

■北米

販売体制を強化し、ゴルフクラブ、ゴルフボールとも増販を計画。

■欧州

ゴルフボール、ゴルフクラブともに増販を計画。特に大陸ではSRIXONゴルフクラブで増収を見込む。

■アジア

中国は市況悪化が影響し減収見込みも、東南アジア、韓国は増収を計画。

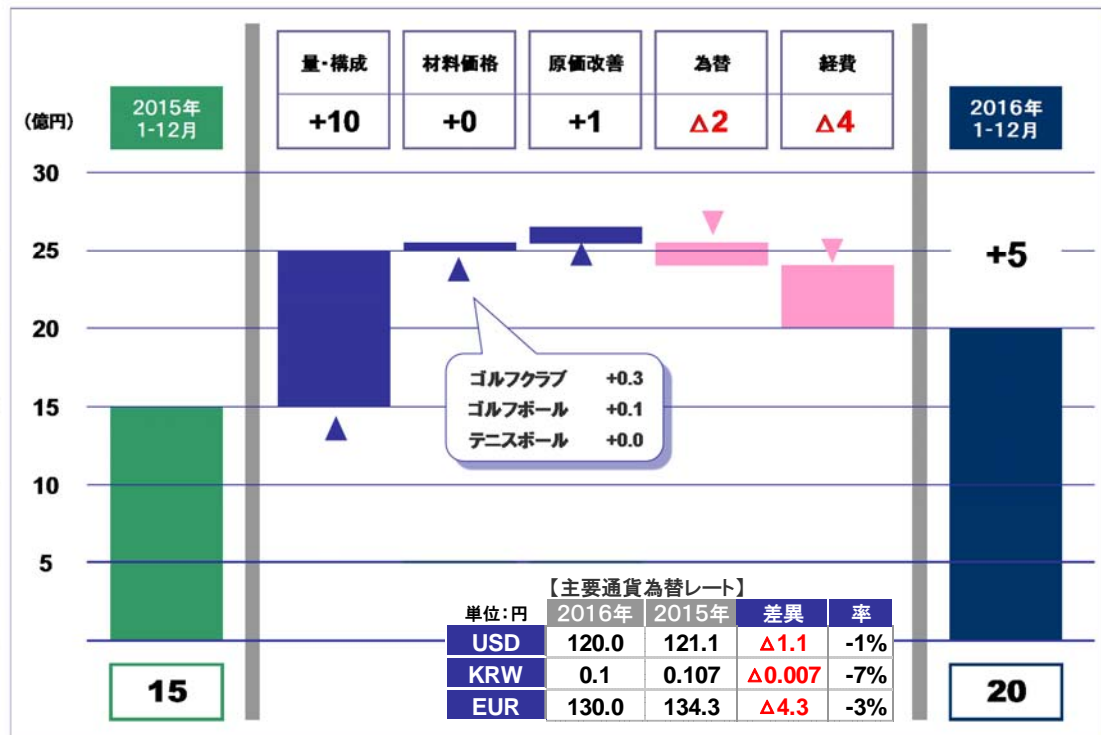
【主要通貨為替レート】

単位:円	2016年	2015年	差異
\$	120.0	121.1	△1.1

<11>

連結営業利益(予想)増減分析

ゴルフクラブで増益を見込む



※ 億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示

<12>

2016年期末決算国際財務報告基準(IFRS)任意適用のお知らせ

当社は、2016年期末決算より国際財務報告基準(IFRS)による財務諸表等を開示する予定です。

決算期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末
開示資料	日本基準	日本基準	日本基準	IFRS

※いずれも連結決算での開示となります。

IFRS適用によりグループ内での会計方針が統一され、グループ各社の財務情報の国際的な比較可能性の向上やグループ経営管理の更なる品質向上が期待できます。

[2016年通期連結業績予想]

(億円)	IFRS (試算・注)	日本基準 (公表)	差異
売上高	782	785	△3
営業利益	22	20	+2
当期純利益	12	11	+1

注:現時点での試算による参考値です。IFRSに基づく業績予想については、2016年度中に改めて公表する予定です。

<13>

スポーツといっしょに生きる
ダンロップスポーツ